

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 東京神奈川森林管理署
所在地	神奈川県 足柄上郡 山北町
面積	880.85ha
設定年	2000(H12)年
保護林の概要 (設定目的)	蛭ヶ岳、棚沢・丹波山にブナ群落、ユースン沢にサワグルミ群落、ツガ群落、臼ヶ岳・丹波山塊にフジアザミ群落、鬼が岩に岩上植生、不動ヶ峰に風衝草原など多くの特定植物群落を含んでいる。霧の多い森林に見られる豊富なコケ類等の着生植物など、極めて多様性の高い植物相が形成されている。このため、ブナを主体とした地域固有の生物群集を有する森林を保護・管理することにより、森林生態系からなる自然環境の維持、野生生物の保護、遺伝資源の保護、森林施業・管理技術の発展、学術の研究等に資するため設定する。



モニタリング調査概要

実施年度	2011年、2016年、2021年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査、動物調査等
調査手法	森林詳細調査として、ブナ群落の生育地において調査プロットを計4箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。動物調査として、調査プロットまでの経路に1つの調査ルートを設定し、保護林内における出現種を把握。森林生態系多様性基礎調査の結果も活用。
結果概要	森林調査について、植生調査による低木層の植被率がすべてのプロットで減少傾向にあり、ニホンジカによる採食圧が高くなっていると考えられる。主な保護対象種であるブナは、ブナにフラスが確認された箇所があったが、概ね健全に生育していた。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。